magicolor 1600W
ユーザーズガイド

A034-9561-12K

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 1600W は、Windows の環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。

9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

安全にお使いいただくために

製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、プリンタの電源を入れるようにしてください。

■　このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ **記号は注意を促す内容があることを告げるものです。**

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠ **記号は禁止の行為であることを告げるものです。**

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● **記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。**

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社カスタマ・サポートにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

複製禁止事項

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。
本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。

もくじ

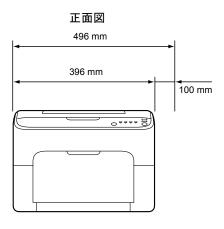
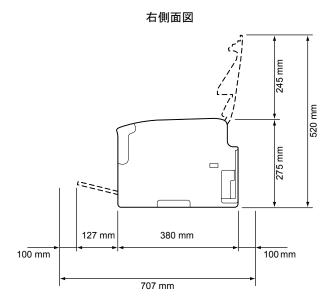
はじめに

お使いになる前に

設置スペース

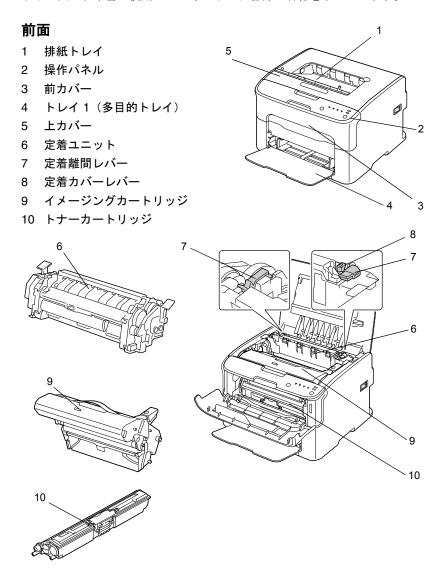
プリンタ操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

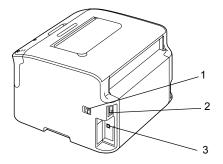
正面図

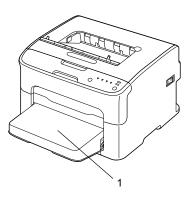
右側面図

各部の名称

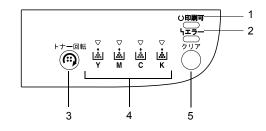
以下の図は、本書で使用しているプリンタ各部の名称を示しています。

前面

1　排紙トレイ
2　操作パネル
3　前カバー
4　トレイ 1（多目的トレイ）
5　上カバー
6　定着ユニット
7　定着離間レバー
8　定着カバーレバー
9　イメージングカートリッジ
10　トナーカートリッジ

背面

1　電源スイッチ
2　電源インレット
3　USB ポート

前面（オプション装着時）

1　ダストカバー

操作パネルについて

1［印刷可］ランプ
2［エラー］ランプ
3［トナー回転］キー
4［トナー］ランプ
5［クリア］キー

ランプについて

ランプは、以下の 5 種類の動作でプリンタの状態を確認することができます。

- オフ
- 点灯
- ゆっくり点滅：2 秒に 1 回点滅
- 点滅：1 秒に 1 回点滅
- すばやく点滅：1 秒に 2 回点滅

各ランプの基本的な意味は、次のとおりです。

- ［印刷可］ランプ
  点灯している場合、印刷を実行できます。
- ［エラー］ランプ
  点灯または点滅している場合、エラーまたは警告が発生しています。
- ［トナー］ランプ
  点滅している場合、該当する色のトナーの残量が少なくなっています。
  点灯している場合、該当する色のトナーの残量がなくなりました。

また、操作パネルのランプの光りかたの組み合わせによって、プリンタの警告状態やエラー状態が通知されることがあります。このようなメッセージについては、「ランプによるメッセージ」（p.107）をごらんください。

プリンタの状態は、リモートパネルを使用して確認することもできます。

詳しくは、「リモートパネル（Remote Panel Utility）の使いかた」（p.42）をごらんください。

［トナー回転］キーについて

［トナー回転］キーを使用すると、プリンタの状態を通常モードから「トナー交換モード」、「プリントヘッド清掃モード」、「トナー取り出しモード」のいずれかのモードに切り替えることができます。

切り替わるモードは、［トナー回転］キーを押している長さによって変わります。

［トナー回転］キーを押している長さ	切り替わるモード	操作パネルのランプ表示
5 秒未満	トナー交換モード	－
5 秒～ 9 秒	プリントヘッド清掃モード	5 秒経過時に、すべてのランプが 1 回点滅
10 秒以上	トナー取り出しモード	10 秒経過時に、すべてのランプが 1 回点滅

いずれの場合も動作モードが切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。

［トナー回転］キーは、次の場合に使用します。

- トナーカートリッジを交換する場合
- プリントヘッドの清掃を行う場合
- すべてのトナーカートリッジを取り出す場合

トナーカートリッジを交換する場合

［トナー回転］キーを押します。

プリンタの動作モードが「トナー交換モード」に切り替わります。

トナーカートリッジの交換については「トナーカートリッジの交換手順」（p.75）をごらんください。

「トナー交換モード」から通常のモードに戻るには、［クリア］キーを押します。

プリントヘッドの清掃を行う場合

［トナー回転］キーを 5 ～ 9 秒間、押し続けてから離します。

プリンタの動作モードが「プリントヘッド清掃モード」に切り替わります。

プリントヘッドの清掃については、「プリントヘッドの清掃」（p.94）をごらんください。

「プリントヘッド清掃モード」から通常のモードに戻る方法については、「プリントヘッドの清掃」（p.94）をごらんください。

「プリントヘッド清掃モード」は、ユーザーがプリントヘッドを清掃しやすくするためのモードです。自動的にプリントヘッドが清掃されるわけではありません。

すべてのトナーカートリッジを取り出す場合

［トナー回転］キーを 10 秒以上押し続けてから離します。

プリンタの動作モードが「トナー取り出しモード」に切り替わります。

すべてのトナーカートリッジを取り出す方法については、「すべてのトナーカートリッジを取り出す方法」（p.81）をごらんください。

「トナー取り出しモード」から通常のモードに戻るには、［クリア］キーを押します。

［クリア］キーについて

［クリア］キーを使用して次のことができます。

- エラーメッセージが表示された後にプリントジョブを継続する
- プリントジョブをキャンセルする
- トナーカートリッジを交換した後に印刷可能状態に戻る

トナーカートリッジ交換後の復帰方法については「トナーカートリッジの交換手順」（p.75）をごらんください。

エラーメッセージが表示された後にプリントジョブを継続する

以下の種類のエラーを解除した後にプリントジョブを続けることができます。

- 給紙トレイの用紙がなくなった場合
- プリンタドライバで設定された用紙と異なる用紙がプリンタへ給紙された場合

エラーメッセージについて詳しくは、「ランプによるメッセージ」（p.107）をごらんください。

上記のいずれかのエラーが発生した場合、［クリア］キーを押すと、プリントジョブを継続できます。

プリントジョブのキャンセル

現在処理中のプリントジョブをキャンセルすることができます。

データの処理中または印刷中に（緑の［印刷可］ランプ点滅中に）、［クリア］キーを 5 秒以上押し続けると、プリントジョブをキャンセルできます。

キャンセルを受け付けると、［印刷可］ランプと［エラー］ランプの両方が同時に点滅します。

2 ソフトウェアについて

Printer Driver and Utility CD-ROM について

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
Windows 7/Vista/Server 2008/ XP/Server 2003/2000	プリンタのさまざまな機能を設定できます。 詳しくは、「プリンタドライバ設定画面を表示する」（p.28）をごらんください。
Windows 7/Server 2008 R2/ Vista/Server 2008/XP/Server 2003 for 64bit	

ドライバのインストールについては、「インストレーションガイド」をごらんください。

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
リモートパネル（Remote Panel Utility）	リモートパネルでは、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。また、プリンタの設定を変更することができます。 詳しくは、「リモートパネル（Remote Panel Utility）の使いかた」（p.42）をごらんください。

マニュアル

マニュアル	内容
インストレーションガイド	本プリンタの設置やドライバのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
ユーザーズガイド（本書）	ドライバの使いかたや消耗品の交換方法、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般について説明しています。
サービス&サポートガイド	ユーザ登録やご質問、ご相談の問い合わせ先など、製品サポートとサービスに関する情報が記載されています。

必要なシステム

- コンピュータ：
  Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機
  （Pentium 3：500 MHz 以上を推奨）
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 1 以降；Service Pack 2 以降を推奨）, Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）
  - 64bit
    Microsoft Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

64bit ドライバは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。

- 空きハードディスク容量：
  - 約 256 MB 以上
- メモリ：
  OS が推奨する以上の RAM
- CD/DVD-ROM ドライブ
- インターフェース：
  - USB 2.0 (High Speed) 準拠インターフェースポート

プリンタドライバの初期設定

本プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。

プリンタドライバのインストールについては「インストレーションガイド」をごらんください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

– Windows 7/Server 2008 R2 の場合

［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「プリンターのプロパティ」をクリックします。

– Windows Vista/Server 2008 の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから「コントロールパネル」―「プリンタとその他のハードウェア」―「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

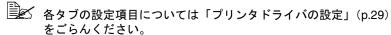
– Windows XP Professional/Sever 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

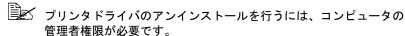
– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから「設定」―「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」を選択します。

2 「基本設定」タブをクリックし使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。

各タブの設定項目については「プリンタドライバの設定」（p.29）をごらんください。

3 ［適用］をクリックします。

4 ［OK］をクリックし、印刷の設定画面を閉じます。

プリンタドライバのアンインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

Windows 7/Server 2008 R2/Vista/Server 2008 を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

ここでは、プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

1 以下の手順でアンインストールプログラムを起動します。

- **Windows 7/Server 2008 R2/Vista/Server 2008/XP/Server 2003 の場合**：［スタート］メニューから「すべてのプログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 1600W」—「プリンタ」—「アンインストール」をクリックします。
- **Windows 2000 の場合**：［スタート］メニューから「プログラム」—「KONICA MINOLTA」—「magicolor 1600W」—「プリンタ」—「アンインストール」をクリックします。

2 アンインストール画面で「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」を選択し、［アンインストール］をクリックします。

3 下図のような画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

プリンタドライバ設定画面を表示する

Windows 7/Server 2008 R2

1 ［スタート］メニューから「デバイスとプリンター」をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。

2 「プリンターと FAX」より「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows Vista/Server 2008

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Home Edition

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「プリンタとその他のハードウェア」—「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows XP Professional/Sever 2003

1 ［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

Windows 2000

1 ［スタート］メニューから「設定」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA magicolor 1600W」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

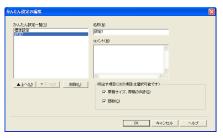
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力して、［OK］をクリックすると現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。
また、［編集］をクリックすると、かんたん設定の編集画面が表示され、保存した設定を変更できます。
ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

6. ページレイアウト / プリンタ図

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。
プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「スタンプ」タブでは、［スタンプビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［スタンプビュー］をクリックすると、スタンプのプレビューが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

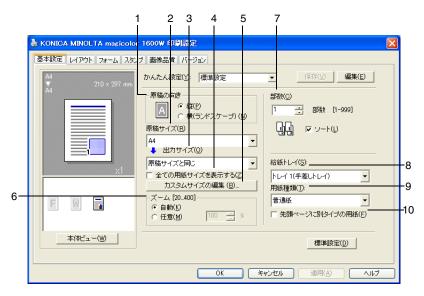
このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

7. 標準設定

このボタンをクリックすると、設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「バージョン」タブには表示されません。

表示されているタブの設定のみ、標準設定に戻ります。その他のタブの設定は変更されません。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横（ランドスケープ）」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。

3. 出力サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

4. 全ての用紙サイズを表示する

全ての用紙サイズを「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示します。「全ての用紙サイズを表示する」のチェックボックスにチェックをしていないと、最も一般的な用紙サイズを表示します。

5. カスタムサイズの編集

カスタム定義する用紙サイズの追加、編集、削除を行うことができます。
カスタム定義する用紙サイズを追加する場合は、［新規］をクリックし、「名称」「サイズ」を設定します。
設定した名前が「原稿サイズ」「出力サイズ」に表示されます。

6. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」を選択し、20%から 400%の間で設定します。

7. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

8. 給紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本プリンタでは、「トレイ 1」しか選択できません。

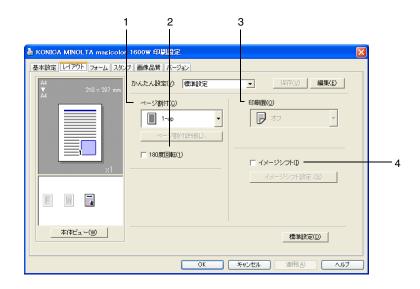
9. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

最適な印刷結果を得るためには、「用紙種類」で選択する項目とトレイにセットする用紙を一致させてください。

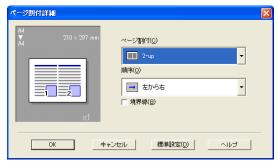
10. 先頭ページに別タイプの用紙

先頭ページに使用する用紙種類を選択します。
「先頭ページに別タイプの用紙」チェックボックスをチェックすると、先頭ページの設定画面が表示されます。「先頭ページの用紙の種類」を設定します。

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。

「1-up」「2×2」「3×3」「4×4」「5×5」以外の設定を選択した場合、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。

［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

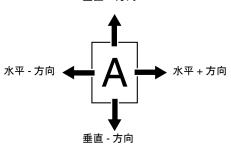
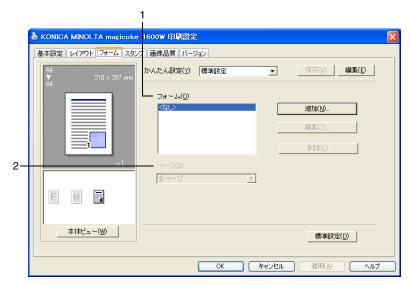
「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 印刷面

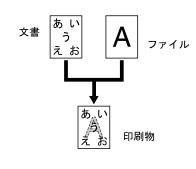
本プリンタでは、この設定値は変更できません。

4. イメージシフト

用紙に印刷される文書の位置を設定します。「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定] ボタンが有効になります。[イメージシフト設定] をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を 0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

右図を参照してプリント位置を設定してください。

「フォーム」タブ

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を1ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

1. フォーム

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。リストから使用するフォームを選択します。
［追加］をクリックすると、フォーム画面が表示されます。新たに追加するフォーム名、ファイルの参照先設定を行います。

追加したフォームファイルは「フォーム」タブのリストに追加されます。
追加したフォームファイルを編集する場合は、リスト内の編集したいフォームファイルを選択し、［編集］をクリックします。

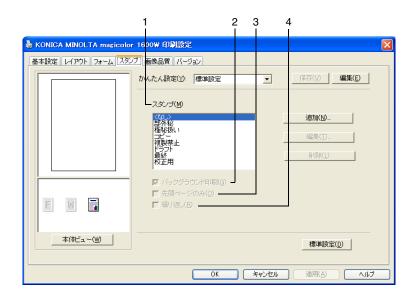
フォーム名とファイル参照先を編集できます。フォームファイル自体を編集することはできません。
追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。

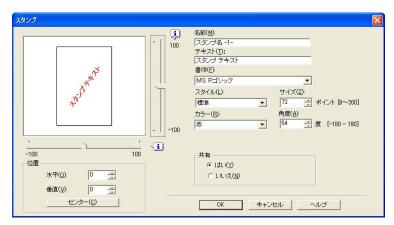
フォームを作成するには、任意のアプリケーションでデータを作成し、「ファイルに出力」オプションを選択して印刷を行います。
これにより作成される prn ファイルをフォームとして使用します。

フォームが複数のページにまたがる場合は、最初のページのデータだけがフォームとして使用されます。

2. ページ

フォームを印刷するページを「全ページ」、「先頭ページ」から選択して設定します。

「スタンプ」タブ

1. スタンプ

印刷する文書に「部外秘」などのテキストを入れて印刷します。
［追加］をクリックすると、スタンプを作成、編集する画面が表示されます。新たにスタンプを作成します。

作成したスタンプは「スタンプ」タブのリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集、削除する場合は、リスト内のスタンプを選択し、［編集］または、［削除］をクリックします。

2. バックグランド印刷

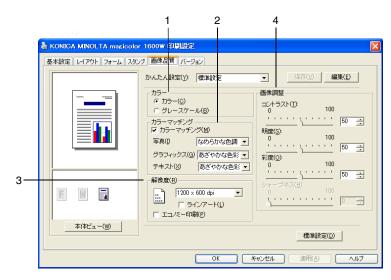
「バックグランド印刷」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字をテキストやイメージの背面に印刷します。

3. 先頭ページのみ

「先頭ページのみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

4. 繰り返し

1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

「画像品質」タブ

1. カラー

カラーで印刷するかモノクロ（グレースケール）で印刷するかを設定します。

2. カラーマッチング

「カラーマッチング」をチェックすると、カラーマッチング機能が有効になります。これにより、スクリーン上の色合いを忠実に表現して印刷することができます。

写真（イメージ）、グラフィックス（表・図柄）、テキスト（文字）のそれぞれに対して、「なめらかな色調」「測色的に一致」「あざやかな色彩」の設定の中から 1 つを選択することができます。

DTP アプリケーション等で、アプリケーションの持つカラーマッチング機能を使って出力する場合には、この設定をオフにしてください。

3. 解像度

印刷時の解像度を dpi（1 インチあたりの印字ドット数）で設定します。「600 × 600dpi」または「1200 × 600dpi」を選択できます。
「ラインアート」をチェックすると、さらに精密な画像の印刷ができますが、再現できる階調数が少なくなります。
「エコノミー印刷」をチェックすると、エコノミー印刷機能が有効になります。これにより、トナーの消費を抑えて印刷することができます。

4. 画像調整

印刷する画像のコントラスト、明度（明るさ）、彩度（鮮やかさ）、シャープネスを設定します。

このタブの「カラー」および「カラーマッチング」で選択した項目によって、調節可能な項目は異なります。

「バージョン」タブ

プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

リモートパネル（Remote Panel Utility）の使いかた

リモートパネル（Remote Panel Utility）の使いかた

リモートパネルでは、プリンタと接続しているコンピュータからプリンタの状態を確認できます。また、プリンタのさまざまな設定（スリープモードに切り替わるまでの時間など）を変更できます。

リモートパネルを使うには、プリンタドライバをインストールしてからリモートパネルをインストールします。インストールについては「インストレーションガイド」をごらんください。

リモートパネルは、プリンタがコンピュータに接続され、プリンタの電源がオンになっている場合に使用できます。

リモートパネルを開く

リモートパネルを起動する手順は、以下のとおりです。

1 コンピュータのデスクトップまたは任意の場所にあるRemote_Panel.exeをダブルクリックします。（Remote_Panel.exe は、リモートパネルをインストールするときに指定した場所に保存されています）
タスクバーにリモートパネルのアイコンが表示されます。

2 タスクバーのリモートパネルのアイコンをダブルクリックします。

リモートパネルウィンドウ右下の「閉じる」ボタンをクリックすると、リモートパネルを閉じることができます（リモートパネルアイコンは Windows のタスクバーに残ります）。

リモートパネルを終了後、再度リモートパネルを起動する場合は、Remote_Panel.exe をダブルクリックしてください。

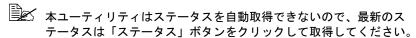
リモートパネルの使いかた

リモートパネルの機能は以下のとおりです。

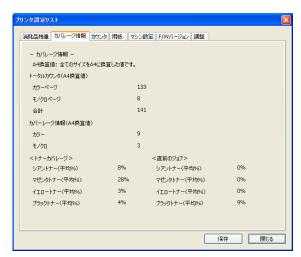
「パネル」タブ

リモートパネル

■ ステータス：ボタンをクリックすると、現在のプリンタの状態を確認できます。

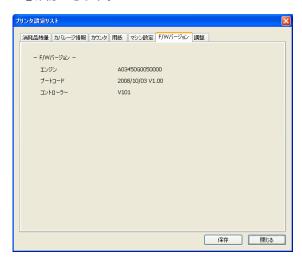
本ユーティリティはステータスを自動取得できないので、最新のステータスは「ステータス」ボタンをクリックして取得してください。

■ プリンタ設定リストの表示：プリンタ設定リストを表示します。また、リストの内容を INI ファイル形式で保存することもできます。

- 消耗品残量：トナーカートリッジおよびイメージングカートリッジのステータスや残量などを確認できます。

- カバレージ情報：これまでに印刷した合計枚数、カラー / モノクロ別の内訳枚数のカバレージ情報（すべてのサイズを A4 サイズに換算した数値）を確認できます。また、トナーカートリッジのカバレージ情報も確認できます。

- カウンタ：これまでに印刷した合計枚数、カラー / モノクロ別の内訳枚数を確認できます。

- 用紙：これまでに印刷した用紙サイズ別の内訳枚数、用紙種類別の内訳枚数を確認できます。

- マシン設定：プリンタのシリアル番号を確認できます。また、リモートパネルの「パネル」タブで変更可能な設定情報（スリープモード時間、自動継続、トナーエンプティ設定、トナーローメッセージ）の現在の設定値を確認できます。

- F/W バージョン：プリンタに搭載されているファームウェアのバージョンを確認できます。

- 調整：リモートパネルの「調整」タブで変更可能な一部の設定情報（画像位置調整（用紙先端）、画像位置調整（用紙左端）、転写ローラー電圧、イメージオフセット）の現在の設定値を確認できます。

■ トナー交換：ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが選択したモードに切り替わります。選択可能なモードは、以下の 2 つです。

- トナー交換：トナーカートリッジを交換する場合に使用します。
  このモードを選択して［トナー交換］ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが「トナー交換モード」に変わります。
  （「トナーカートリッジの交換手順」（p.75）をごらんください。）

- トナー取り出し：すべてのトナーカートリッジを取り出す場合に使用します。
  このモードを選択して［トナー交換］ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが「トナー取り出しモード」に変わります。
  （「すべてのトナーカートリッジを取り出す方法」（p.81）をごらんください。）

■ P/H 清掃モード：プリントヘッドの清掃を行う場合に使用します。
このモードを選択して［トナー交換］ボタンをクリックすると、プリンタの動作モードが「プリントヘッド清掃モード」に変わります。
（「プリントヘッドの清掃」（p.94）をごらんください。）

プリンタ本体の［トナー回転］キーを押して、これらのモードに切り替えることもできます。
詳しくは、「［トナー回転］キーについて」（p.20）をごらんください

設定

Windows タスクバーに表示されるリモートパネルアイコンを閉じると、再表示したとき画面上の設定値は初期値が表示されます。実際の設定値は「プリンタ設定リストの表示」からご確認ください。

太字は工場出荷時の設定値を表します。

項目		
［適用］ボタン	クリックすると、画面上の「トナーローメッセージ」、「トナーエンプティ設定」、「スリープモード時間」、「自動継続」の設定情報をプリンタに送信します。	
トナーローメッセージ	設定	**オン** / オフ
	トナーが少なくなった場合に、プリンタ本体のランプを点滅させたり、リモートパネルのステータス表示に警告メッセージを表示するかどうかを設定します。「オフ」にすると、トナーが少なくなっても、これらの通知はされなくなります。	
トナーエンプティ設定	設定	**オン** / オフ
	トナーがなくなった場合に印刷を停止するか（オン）、続行するか（オフ）を設定できます。 オフにした場合、印刷は継続できますが印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、「エラー」ランプが点灯し、印刷が停止します。	
スリープモード時間	設定	5 / 15 / **30** / 60
	プリンタがスリープモード（節電モード）に入るまでの時間を設定できます。	
自動継続	設定	オン / **オフ**
	「オフ」を選択すると、用紙サイズエラーが発生した場合、印刷を停止します。ただし、用紙サイズエラーを検出するまで数枚印刷することがあります。 「オン」を選択すると、用紙サイズエラーが発生しても印刷を停止しません。印刷終了後に用紙サイズエラーとなりますので、[クリア] キーを押してエラーを解除します。	

カラー調整

■ スタート : キャリブレーションを実行します。

カラー調整機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。

「調整」タブ

 Windows タスクバーに表示されるリモートパネルアイコンを閉じると、再表示したとき画面上の設定値は初期値が表示されます。実際の設定値は「プリンタ設定リストの表示」からご確認いただくか、［ダウンロード］をクリックしプリンタから設定値をダウンロードしてください。

 太字は工場出荷時の設定値を表します。

画像位置調整（用紙先端）	設定	-15 ~ **0** ~ 15
	上端の印字開始位置を微調整できます。普通紙、厚紙、封筒の各用紙で設定できます。 1 ステップ調整すると 0.2 mm 移動します。	
画像位置調整（用紙左端）	設定	-15 ~ **0** ~ 15
	トレイ 1 から給紙される用紙の左端印字開始位置を微調整できます。 1 ステップ調整すると 0.2 mm 移動します。	

<table>
<tr><td rowspan="2">転写ローラー電圧</td><td>設定</td><td colspan="2">-8 ~ 0 ~ +7</td></tr>
<tr><td colspan="3">用紙種類に応じた転写ローラー電圧を設定できます。かすれたようなベタ画像が発生する場合は設定値をプラス方向へ設定します。
ハーフトーンに細かな白点が発生する場合は設定値をマイナス方向へ設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">サービスメニュー</td><td rowspan="2">タイムアウト</td><td>設定</td><td>5 / 10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタとの通信時のタイムアウトの時間を設定します。（単位：秒）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スリープモード</td><td>設定</td><td>オン / オフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">スリープモード（節電モード）を有効にするかどうかを設定します。スリープモードに入るまでの時間は、「パネル」タブで設定できます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フリッカー</td><td>設定</td><td>0 / 1 / 2</td></tr>
<tr><td colspan="2">電源環境による蛍光灯のちらつきを防止するモードを設定します。
0：自動でちらつきを防止する
1：常にちらつきを防止する
2：ちらつきを防止しない</td></tr>
<tr><td rowspan="2">イメージオフセット</td><td>設定</td><td>0 / 1 / 2 / 3</td></tr>
<tr><td colspan="2">高地などの環境（気圧が低い場所）で画像異常が発生した場合に切り替えます。
0：一般的な平地で使用
1：中高地で使用
2：高地で使用（参考：標高約 2000 m）
3：高高地で使用</td></tr>
</table>

■ 画像リフレッシュ：印刷した画像に周期的な白薄い横線が入る場合に使用します。

画像リフレッシュ機能を使用するとトナーが消費されますのでご注意ください。

テストパターン 1、テストパターン 2：テストパターンを印刷して、印刷結果を確認できます。テストパターン 1 ではモノクロのテストパターンを、テストパターン 2 ではカラーのテストパターンを印刷できます。

ダウンロード：プリンタの現在の設定情報を読込んで画面に表示します。

アップロード：現在の画面の設定情報をプリンタに送信します。

リモートパネルを閉じる

リモートパネルを終了するときは、タスクバーのリモートパネルのアイコンを右クリックし、「終了」を選択してください。

 リモートパネルの画面右下の［閉じる］ボタンをクリックすると、画面は閉じますが、タスクバーに最小化されアイコンとして残ります（終了しません）。アイコンをダブルクリックすると、リモートパネルが再度表示されます。

 リモートパネルを閉じた後に再度リモートパネルを開く場合は、5 秒以上待ってから開いてください。

リモートパネルのアンインストール

 リモートパネルのアンインストールを行うには、コンピュータの管理者権限が必要です。

 Windows 7/Server 2008 R2/Vista/Server 2008 を使用時に「ユーザーアカウント制御」に関する画面が表示されるときは、「許可」または「続行」をクリックします。

 アンインストールを行う前に、タスクバーからリモートパネルを終了させてください。

リモートパネルは以下のいずれかの方法でアンインストールできます。

– 「プログラムの追加と削除」（Windows 7/Server 2008 R2/Vista/Server 2008 の場合は「プログラムと機能」、Windows 2000 の場合は「アプリケーションの追加と削除」）を使う
– Printer Driver and Utility CD-ROM の「Panel Utility」フォルダにある、setup.exe を再度実行する

用紙の取り扱い

使用できる用紙

用紙のサイズ

用紙	用紙サイズ	
	ミリ（mm）	インチ（in.）
A4	210.0 x 297.0	8.2 x 11.7
B5 (JIS)	182.0 x 257.0	7.2 x 10.1
A5	148.0 x 210.0	5.9 x 8.3
リーガル	215.9 x 355.6	8.5 x 14.0
レター	215.9 x 279.4	8.5 x 11.0
ステートメント	139.7 x 215.9	5.5 x 8.5
エグゼクティブ	184.2 x 266.7	7.25 x 10.5
フォリオ	210.0 x 330.0	8.25 x 13.0
レタープラス	215.9 x 322.3	8.5 x 12.69
UK クァトロ	203.2 x 254.0	8.0 x 10.0
フールスキャップ	203.2 x 330.2	8.0 x 13.0
ガバメントリーガル	215.9 x 330.2	8.5 x 13.0
開 16	185.0 x 260.0	7.3 x 10.2
開 32	130.0 x 185.0	5.1 x 7.3
ガバメントレター	203.2 x 266.7	8.0 x 10.5
16K	195.0 x 270.0	7.7 x 10.6
Oficio Mexico	215.9 x 342.9	8.5 x 13.5
B5 (ISO)	176.0 x 250.0	6.9 x 9.8
封筒 DL	220.0 x 110.0	8.7 x 4.3
封筒洋形 2 号	162.0 x 114.0	6.4 x 4.5
ハガキ	100.0 x 148.0	3.9 x 5.8
カスタムサイズ（最小値）*	92.0 x 195.0	3.6 x 7.7
カスタムサイズ（最大値）*	216.0 x 356.0	8.5 x 14.0
備考： * 厚紙の場合 カスタムサイズの最小値は、92.0 x 184.0 mm （3.6 x 7.25 インチ） カスタムサイズの最大値は、216.0 x 297.0 mm（8.5 x 11.7 インチ）		

用紙の種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙（リサイクル）

容量	**トレイ 1**	200 枚（用紙の厚さによって変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	普通紙	
坪量	60 ～ 90 g/m²	

以下の用紙を使用してください。

■ 販売店で取り扱っている OA 用紙、リサイクル紙など、プリンタ対応の普通紙（リサイクル）

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

■ 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）

■ 熱転写用紙

■ 水転写用紙

■ 感圧紙

■ アイロンプリント用紙

■ インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢フィルム、はがきなど）

■ 一度印刷に使用した用紙
・インクジェットプリンタで印刷された用紙
・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
・熱転写プリンタで印刷された用紙
・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

- 湿気のある用紙
  湿度が 15% 〜 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で断裁されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m^2 より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

厚紙には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	厚紙 1 厚紙 2	
坪量	厚紙 1：91 〜 163 g/m^2 厚紙 2：164 〜 209 g/m^2	

以下のような使いかたはしないでください。

■ 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

どの封筒の場合も、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

封筒には連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

容量	**トレイ 1**	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	封筒	

以下の封筒を使用してください。

■ サイズが封筒 DL または洋形 2 号の封筒（その他のサイズの封筒はサポート外となります）

■ 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

■ レーザープリンタ対応の封筒

■ 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

■ 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒

■ テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒

■ 窓付きの封筒

■ 表面が粗い和紙などの封筒

■ 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒

■ すでにのりでとじられている封筒

ラベル用紙

ラベル用紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

■ 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。

■ 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル用紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル用紙用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル用紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルをごらんください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ラベル用紙	

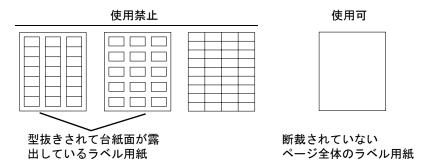
以下のラベル用紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル用紙

以下のようなラベル用紙は使用しないでください。

- はがれやすいラベル用紙
- 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル用紙

ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

- 最初から断裁されているラベル用紙

レターヘッド

レターヘッドには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってレターヘッド用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙のサイズや厚さによって変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	レターヘッド	

はがき

はがきには連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

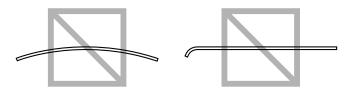
お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、印字位置確認のためあらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
用紙のセット方向	印刷面が上向き	
プリンタドライバでの用紙種類の設定	ハガキ	

以下のはがきを使用してください。

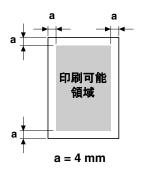
- サイズ：100 × 148 mm
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

- 光沢のあるもの
- 曲がっているもの
- インクジェットプリンタ用のもの
- 切り込みやミシン目のあるもの
- すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）
- 大きく曲がっていたり、先端が曲がっているもの

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。

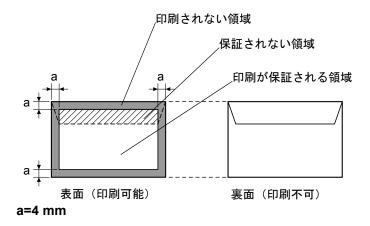
印刷可能領域

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

リーガルサイズの用紙にカラー印刷する場合は、以下の制約があります。

- 印刷可能領域は、用紙の先端から 339.6 mm です（ただし、先端の 4 mm は余白になります）。
- 用紙の後端の 16 mm は余白になります。

封筒の場合

封筒では、表面（宛先面）への印刷のみが可能です。また、（表面の）封の重なる部分への印刷結果は保証されません。保証されない領域の大きさは、封筒の種類によって異なります。

 封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。

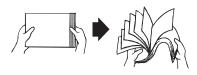
 封筒 DL を使用する場合、端から左右 6 mm の領域には印刷できません。

ページ余白

ページ余白の設定はお使いのアプリケーションによって決まります。用紙サイズや余白を既定値から選択すると、印刷できない領域が生じる場合があります。最適な結果を得るためには、カスタム設定で本プリンタの印刷可能領域内におさまる設定を行ってください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。

ご注意

本プリンタは、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル用紙、レターヘッド、はがき）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりプリンタの寿命が短くなる場合があります。

用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

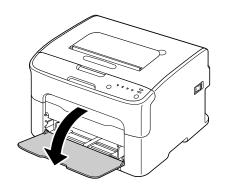
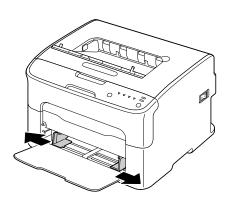
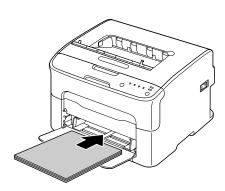
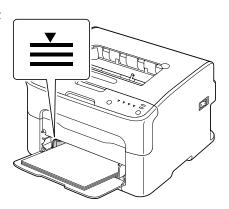
種類やサイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。紙づまりの原因となります。

トレイ 1（多目的トレイ）

トレイ 1 から印刷できる用紙の種類、サイズについては、「使用できる用紙」（p.54）をごらんください。

普通紙の場合

1 トレイ 1 を開きます。

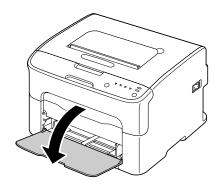
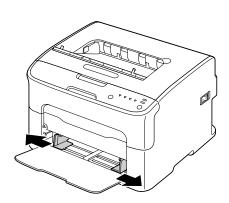
トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

2 用紙ガイドを広げます。

3 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は▼マークを超えないようにセットしてください。
普通紙は一度に 200 枚（80 g/m^2）までセットできます。

4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

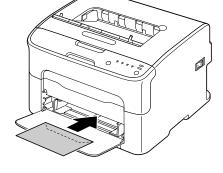
その他の用紙

普通紙以外の用紙をセットする場合、最適な印刷結果を得るためにプリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒など）

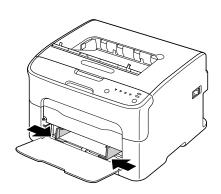
封筒の場合

1 トレイ 1 を開きます。

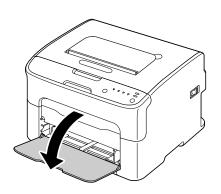
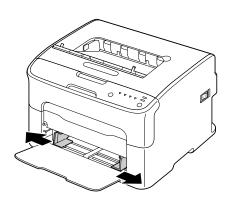
トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

2 用紙ガイドを広げます。

3 フタを下側にして封筒をセットします。

セットする前に、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折目をしっかり押えてください。空気が残っていたり折り目がしっかり押えられていないと、封筒にしわが出来たり、紙づまりの原因になります。

封筒は一度に 10 枚までセットできます。

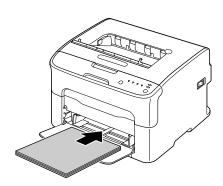
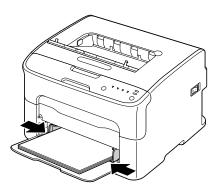
封筒は、封筒 DL と封筒洋形 2 号をサポートしています。封筒のフタはプリンタ側にしてセットしてください。

4 封筒のサイズに用紙ガイドを合わせます。

ラベル用紙／レターヘッド／はがき／厚紙の場合

1 トレイ 1 を開きます。

 トレイ 1 に用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

2 用紙ガイドを広げます。

3 印刷面を上向きにして用紙をセットします。

用紙は一度に 50 枚までセットできます。

はがきは短辺（長さの短い方）を本体奥側へ向けてセットします。

4 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

排紙トレイ

印刷された用紙は、印刷面が下向きの状態でプリンタ上部の排紙トレイに排出されます。排紙トレイの許容量は、80 g/m^2 の用紙（A4 ／レター）で約 100 枚までです。

排紙トレイの用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きやすくなります。

用紙の保管方法

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
  包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。
- 用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。
  - 湿気が多い場所
  - 直射日光があたる場所
  - 高温の場所（35°C 以上の場所）
  - ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください。

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

消耗品の交換

消耗品の交換のしかた

ご注意

本ユーザーズガイドに記載されている手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

コニカミノルタ純正品以外のリサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。また、技術的なサポートの対象にもなりません。

使用済みカートリッジ回収のご案内

回収方法

使用済みのカートリッジを袋に入れ、購入された際の箱に入れてお送りください。カートリッジに付着しているトナーにご注意の上、袋および箱の口はテープでしっかりふさいでください。

回収したトナーカートリッジおよびイメージングカートリッジは再資源化しています。

回収の受付など詳しくは、printer.konicaminolta.jp にアクセスしてご確認ください。

トナーカートリッジについて

本プリンタではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーカートリッジを交換する場合、必ず未使用品と交換してください。使用済みのトナーと交換すると、トナー残量が正しく表示されないことがあります。

トナーカートリッジは、無理に開けたりしないでください。トナーが漏れ出した場合、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。

トナーが服や手に付いた場合、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

トナーを吸入した場合、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば医師の診察を受けてください。

トナーが目に入った場合、直ちに流水で 15 分以上洗い流し、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。

トナーを飲み込んだ場合、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んでください。必要に応じて医師の診察を受けてください。

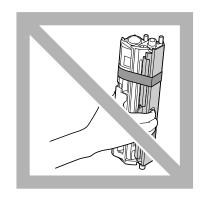
トナーカートリッジは幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

トナーカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のトナーカートリッジをご使用ください。本体およびトナーカートリッジの製品番号は上カバーの内側のラベルでご確認ください。

本体製品番号	トナーカートリッジタイプ	トナーカートリッジ製品番号
MC1600W	トナーカートリッジ - イエロー（Y）	TCSMC1600Y
	トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	TCSMC1600M
	トナーカートリッジ - シアン（C）	TCSMC1600C
	大容量トナーカートリッジ - ブラック（K）	TCHMC1600K
	大容量トナーカートリッジ - イエロー（Y）	TCHMC1600Y
	大容量トナーカートリッジ - マゼンタ（M）	TCHMC1600M
	大容量トナーカートリッジ - シアン（C）	TCHMC1600C

交換にあたっては、上記製品番号のトナーカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のトナーカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
- 気温 35°C 以下、湿度 85% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。

- 塩分を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

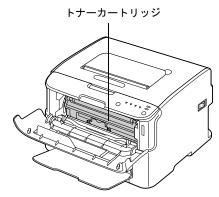
トナーカートリッジの交換手順

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

トナーがなくなると、該当する色の［トナー］ランプが点灯します。以下の手順にしたがってトナーカートリッジを交換してください。

パネルユーティリティの「パネル」タブ内のトナーエンプティ設定を「オフ」に設定している場合、ステータス画面に「トナーがなくなりました。」のメッセージが表示された後でも印刷を続行できますが、印字品質は保証外となります。印刷を続け、トナーが完全になくなると、「トナーが寿命です。」と表示され印刷を停止します。
設定について詳しくは、「リモートパネルの使いかた」（p.43）をごらんください。

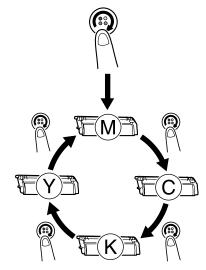
トナーカートリッジは右図の位置にあります。

1 操作パネルで、なくなったトナーの色を確認します。

トナーがなくなると、該当する色の［トナー］ランプが点灯し、トナーのなくなったトナーカートリッジが自動的に交換位置へ移動します。

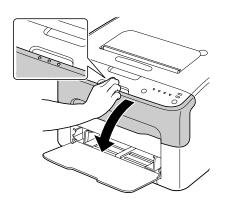
強制的にトナーカートリッジを交換したい場合、以下のいずれかの操作を行って、プリンタの動作モードを「トナー交換モード」に切り替えます。

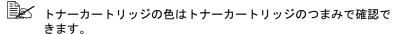
- ［トナー回転］キーを押す。
- リモートパネルの「パネル」タブで、「トナー交換」を選択して［トナー交換］ボタンをクリックする。

「トナー交換モード」に切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。

［トナー回転］キーを 1 回押すごとにシアン、ブラック、イエローの順にトナーカートリッジが交換位置に移動します。交換位置に移動したトナーのランプが点灯します。

「トナー交換モード」を終了するには、［クリア］キーを押します。

2 前カバーを開きます。

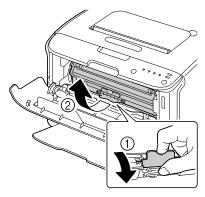
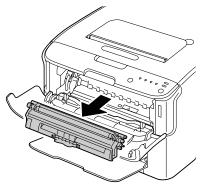
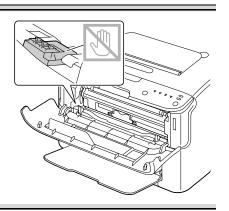
トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

3 交換する色のトナーカートリッジが手前に来ていることを確認します。

トナーカートリッジの色はトナーカートリッジのつまみで確認できます。

4 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。

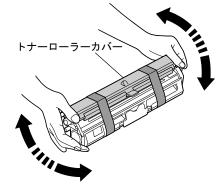
ご注意

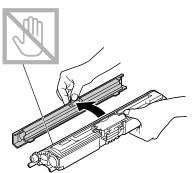
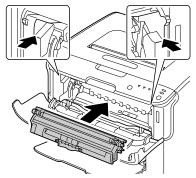
右図の端子には触らないように注意してください。

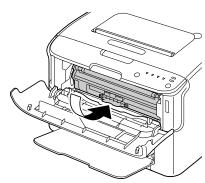
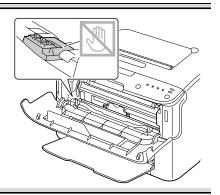
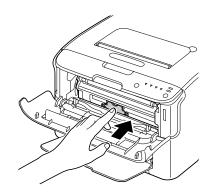
ご注意

使用済みトナーカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

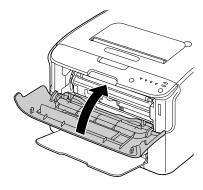
5 新しいトナーカートリッジを用意します。

6 新しいトナーカートリッジを両手で持ち、数回振ります。

トナーローラーカバーが装着されていることを確認してから振ってください。

7 トナーローラーカバーを取り外します。

トナーローラーには触れたり、傷をつけたりしないように注意してください。

8 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

トナーカートリッジラックのラベルと、取り付けるトナーカートリッジの色が同じであることを確認してからトナーカートリッジを取り付けてください。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

9 トナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

10 前カバーを閉じます。

引き続き、別の色のトナーカートリッジを交換する場合は、前カバーを閉じた後、（必要に応じて［トナー回転］キーを押して）交換する色のトナーランプを点灯させてから、手順 2 ～ 10 の手順で同様にトナーカートリッジの交換を行ってください。

11 ［クリア］キーを押します。
［トナー］ランプがオフになり、印刷可能な状態に戻ります。

トナーカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーションを行います。印刷可能な状態になる前にカバーをあけると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

すべてのトナーカートリッジを取り出す方法

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

「トナー取り出しモード」を使用すると、すべてのトナーカートリッジを取り出すことができます。このモードは消耗品を除く本体をサポートセンターに送り渡す場合などに使用します。

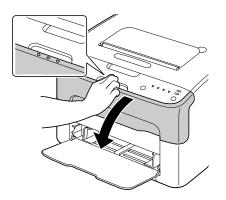
「トナー取り出しモード」の使用方法は、以下のとおりです。

1 以下のいずれかの操作を行って、プリンタの動作モードを「トナー取り出しモード」に切り替えます。
- ［トナー回転］キーを 10 秒以上押し続けてから離す。
- リモートパネルの「パネル」タブで、「トナー取り出し」を選択して［トナー交換］ボタンをクリックする。

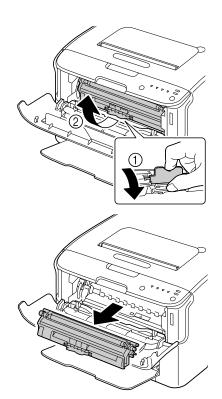
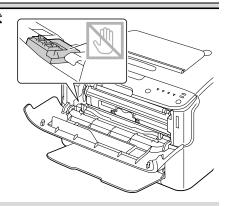
「トナー取り出しモード」に切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。

「トナー取り出しモード」を終了するには、［クリア］キーを押します。

2 前カバーを開きます。

トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

3 トナーカートリッジのロックが解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

トナーカートリッジラックは手動では回せません。破損の原因となりますので、無理に回さないでください。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

4 前カバーを閉じます。

5 同様の手順で、シアン、ブラック、イエローの順にトナーカートリッジを取り出します。

6 ［クリア］キーを押します。

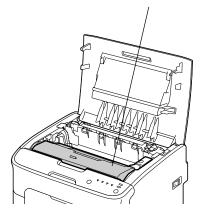
イメージングカートリッジの交換手順

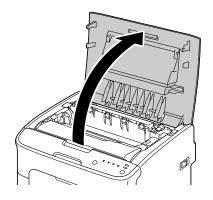
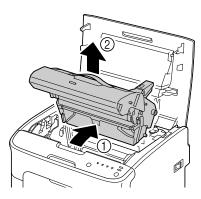
イメージングカートリッジの交換の際は下表をごらんください。下表にあるコニカミノルタ純正のイメージングカートリッジをご使用ください。本体およびイメージングカートリッジの製品番号は上カバーの内側のラベルでご確認ください。

本体製品番号	製品名	イメージングカートリッジ製品番号
MC1600W	イメージングカートリッジ	DCMC1600

交換にあたっては、上記製品番号のイメージングカートリッジを使用してください。上記製品番号以外のイメージングカートリッジを使用した場合は印刷速度が低下します。

イメージングカートリッジが寿命に達すると、［エラー］ランプが点灯します。以下の手順にしたがってイメージングカートリッジを交換してください。

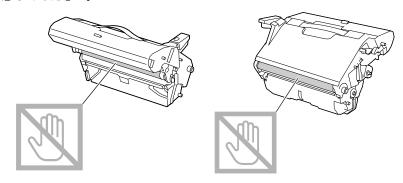
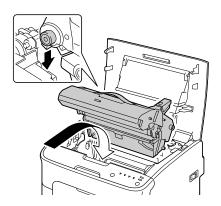
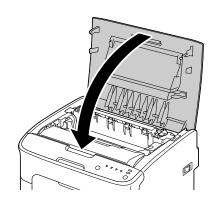
イメージングカートリッジは右図の位置にあります。

1 上カバーを開けます。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

使用済みイメージングカートリッジは回収サービスをご利用いただくか、地域の条例にしたがって廃棄してください。

3 新しいイメージングカートリッジを用意します。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

4 新しいイメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

5 上カバーを静かに閉じます。

イメージングカートリッジ交換後、プリンタはキャリブレーションを行います。印刷可能な状態になる前にカバーをあけると、キャリブレーションを停止し、カバーを閉めた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

メンテナンス 6

プリンタのメンテナンス

注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのカバー内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタを長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをおすすめします。以下のガイドラインにしたがってください。

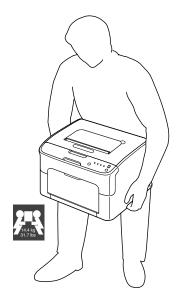
警告

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃や、紙づまりを取り除く場合は、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間から洗剤液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する場合は、プリンタの目立たない部分で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。
- プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。
- プリンタのカバーはゆっくり閉めてください。プリンタに振動を与えないようにしてください。

- プリンタを使用後すぐにカバーや布などをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。
- 上カバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってイメージングカートリッジが損傷を受ける場合があります。
- 印刷中はプリンタの上カバーや前カバーを開けないでください。
- 用紙をプリンタの上部にあててそろえないでください。
- プリンタに油をさしたり、分解しないでください。
- プリンタを傾けないでください。
- 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。
- 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。
- プリンタを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。
- プリンタを持ち上げるときは、右の図に示す位置を持ってください。

- トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

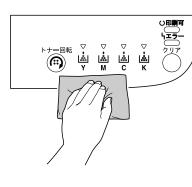
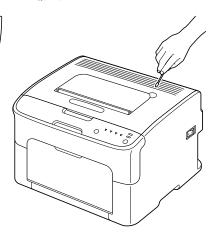
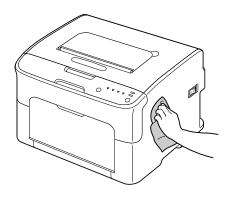
- プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に、清掃時に取り外した内部の部品が取り付けられていることを確認してください。

プリンタの清掃

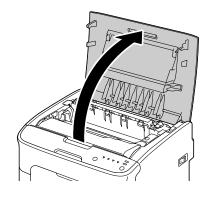
注意

清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。ただし、プリントヘッドの清掃を行う場合は、プリンタの電源を入れた状態で行ってください。

プリンタ外側の清掃

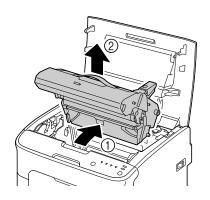
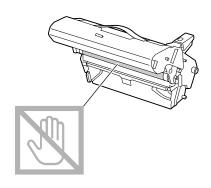
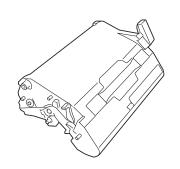
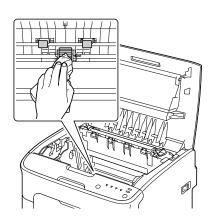
操作パネル

排気ダクト

プリンタの外側

プリンタ内部の清掃

給紙ローラーの清掃

給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

1 上カバーを開けます。

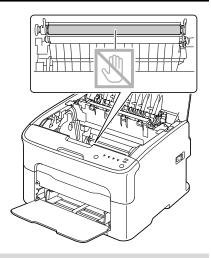
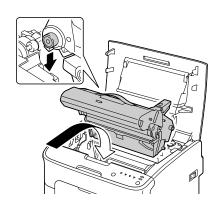
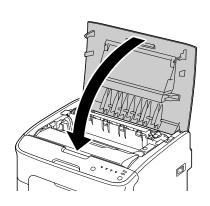
排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

3 やわらかい乾いた布で給紙ローラーの汚れを拭き取ります。

注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

4 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

5 上カバーを静かに閉じます。

プリントヘッドの清掃

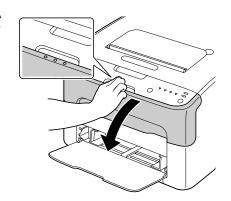
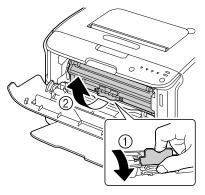
プリントヘッドが汚れたまま使用すると、印字品質の問題が発生することがあります。

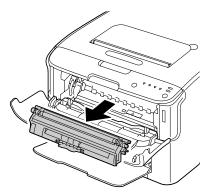
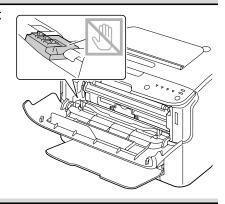
1 以下のいずれかの操作を行って、プリンタの動作モードを「プリントヘッド清掃モード」に切り替えます。
- ［トナー回転］キーを 5 ～ 9 秒間押し続けてから離す。
- リモートパネルの「パネル」タブで、［P/H 清掃モード］ボタンをクリックする。

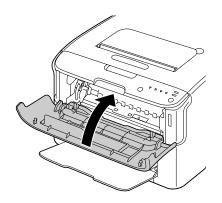
「プリントヘッド清掃モード」に切り替わると、マゼンタのトナーランプが点灯します。

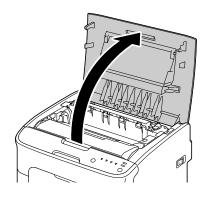
「プリントヘッド清掃モード」は途中で終了できません（［クリア］キーを押しても終了しません）。
誤って「プリントヘッド清掃モード」に切り替えた場合は、（手順 5 ～ 9 を除く）手順 2 ～ 4 と 10 ～ 14 を行って、「プリントヘッド清掃モード」を終了してください。

2 前カバーを開きます。

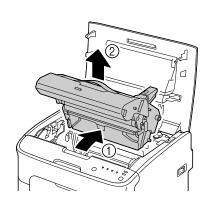
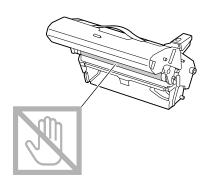
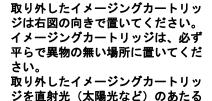
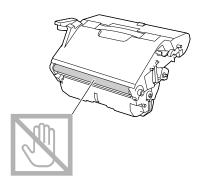
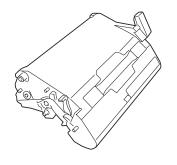
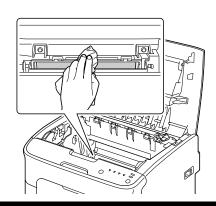
トレイ 1 が開いていない場合はトレイ 1 を開いてから、前カバーを開きます。

3 トナーの交換位置には、マゼンタのトナーカートリッジが来ています。
トナーカートリッジの装着が解除されて手前に少し緩むまで、トナーカートリッジのつまみを引き下げます。
トナーカートリッジを取り外します。

マゼンタのトナーカートリッジを取り外すことで、プリンタ内部に隙間ができ、プリントヘッドの清掃が行いやすくなります。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

4 前カバーを閉じます。

プリンタの内部でトナーカートリッジが回転します。

5 トナーカートリッジの回転が終了し、操作パネルのすべてのランプが点滅状態になったら、上カバーを開けます。

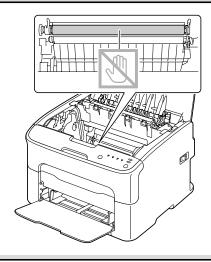
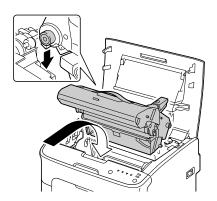
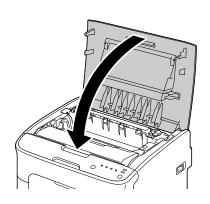
排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

6 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

ご注意

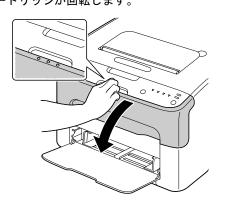
イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

7 やわらかい乾いた布でプリントヘッドの汚れを拭き取ります。

注意

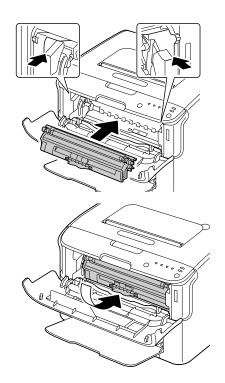
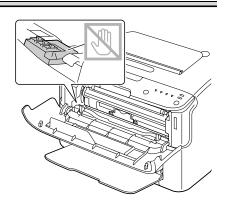
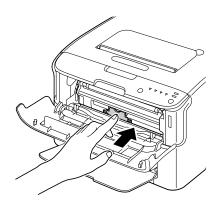
定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

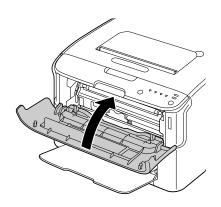
転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

8 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

9 上カバーを静かに閉じます。

10 ［クリア］キーを押します。

すべてのランプの点滅状態が終了し、マゼンタのトナーランプが点灯します。
プリンタ内部でトナーカートリッジが回転します。

11 トナーカートリッジの回転が終了したら、前カバーを開けます。

12 トナーカートリッジの両端の軸を軸受けに合わせ、セットします。

ご注意

右図の端子には触らないように注意してください。

13 マゼンタのトナーカートリッジをカチッと音がするまで確実に押し込みます。

14 前カバーを閉じます。

トラブル
シューティング

7

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
トレイに用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面を上にしてトレイにセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 100 枚まで排紙できます。100 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

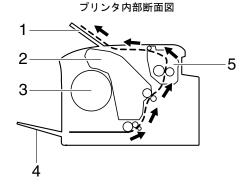
1　排紙トレイ

2　イメージングカートリッジ

3　トナーカートリッジラック

4　トレイ 1

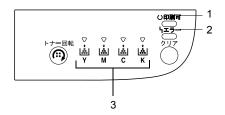
5　定着ユニット

プリンタ内部断面図

ランプによるメッセージ

操作パネルのランプは、プリンタの状況を示し、問題が起こっている箇所を把握するのに役立ちます。

1［印刷可］ランプ

2［エラー］ランプ

3［トナー］ランプ

ステータスメッセージ（［印刷可］ランプ、［エラー］ランプ）

ステータスメッセージは現在のプリンタの状況を示すメッセージです。プリンタの状況は、リモートパネルでも確認できます。リモートパネルについて詳しくは、「リモートパネル（Remote Panel Utility）の使いかた」（p.42）をごらんください。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
オフ	オフ	-	電源がオフになっている	なし
ゆっくり点滅	オフ	スリープモード	スリープ（節電）モードの状態	なし
点灯	オフ	レディ	印刷可能状態	なし
点滅	オフ	プリントジョブの受信中です。	データの処理中	なし
		プリント中です。	印刷中	
点灯	点灯	-	初期化中（電源投入時）	なし
		-	印刷ジョブのキャンセル中	

警告メッセージ

以下のメッセージは、プリンタで警告状態が発生していることを示します。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
点灯	オフ	ゆっくり点滅	トナーが残りわずかです。X（YMCK）	トナーがまもなくなくなります。	新しいトナーカートリッジを用意してください。
点灯	オフ	点滅	トナーが違います。X（YMCK）	コニカミノルタ純正でないトナーカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジをセットしてください。
点灯	オフ	すばやく点滅	トナーが違います。X（YMCK）	仕向け違いのトナーカートリッジがセットされています。	コニカミノルタ純正で、正しい仕向けのトナーカートリッジをセットしてください。 73 ページをごらんください。
点灯	オフ	点灯	トナーがなくなりました。X（YMCK）	トナーがなくなりました。 リモートパネルの「トナーエンプティ設定」が「オフ」に設定されているときに表示されます。	トナーカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、［エラー］ランプ（オレンジ）が点灯し、印刷が停止します。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
点灯	ゆっくり点滅	*	I/C が残りわずかです。	イメージングカートリッジがまもなく寿命です。	新しいイメージングカートリッジを用意してください。
			T/C メモリ エラー	トナーカートリッジのメモリーエラーが発生しました。	トナーカートリッジを取り外して、もう一度セットし直してください。
			VIDEO I/F エラー	ビデオインターフェースエラーが発生しました。	プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
			プロセス エラー（IDC）	処理中に警告が発生しました。	プリンタの上カバーと前カバーを一度開けて閉じてください。 問題が解決しない場合は、プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
オフ	ゆっくり点滅	*	I/C を交換して下さい。	イメージングカートリッジが寿命です。	イメージングカートリッジを交換してください。 印刷は継続できますが、印刷結果は保証されません。その後も印刷を続けると、［エラー］ランプ (オレンジ) が点灯し、印刷が停止します。

* トナーの状態によって異なる

エラーメッセージ

以下のメッセージは、プリンタでエラー状態が発生していることを示します。

プリントジョブを継続したり、プリンタを印刷可能な状態にするには、エラーを解決する必要があります。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
オフ	すばやく点滅	点灯	トナーがなくなりました。/ X（YMCK）トナーを交換してください。	トナーがなくなりました。 リモートパネルの「トナーエンプティ設定」が「オン」に設定されているときに表示されます。	トナーカートリッジを交換してください。 リモートパネルの「トナーエンプティ設定」を「オフ」に設定すると、印刷を継続できますが、印刷結果は保証されません。
オフ	点灯	点灯	トナーが入っていません。/ X（YMCK）トナーを確認してください。	トナーカートリッジがセットされていません。	トナーカートリッジをセットしてください。
			トナーが寿命です。/X (YMCK) トナーを交換してください。	トナーカートリッジが寿命です。	トナーカートリッジを交換してください。
ゆっくり点滅	ゆっくり点滅	*	用紙を確認してください / 用紙を補給してください。（XX）	用紙がありません。	トレイ 1 に用紙をセットして、［クリア］キーを押してください。
				トレイ 1 で紙づまりが発生しました。	つまった用紙を取り除き、［クリア］キーを押してください。

［印刷可］ランプ（緑）	［エラー］ランプ（オレンジ）	［トナー］ランプ（オレンジ）	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
交互にゆっくり点滅		*	用紙サイズエラー / 用紙を確認してください。（XX）	用紙サイズエラーが発生しました。プリンタドライバで設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷されました。	［クリア］キーを押して、エラーを解除してください。 プリンタドライバで設定したサイズの用紙に印刷したい場合は、正しいサイズの用紙をトレイ 1 にセットして、もう一度プリントジョブを実行してください。
オフ	ゆっくり点滅	*	メモリ不足です。	メモリーがいっぱいです。	［クリア］キーを押してください。問題が解決しない場合は、プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
オフ	点滅	*	トップカバーが開いています。/ トップカバーを閉じてください。	前カバーまたは上カバーが開いています。	前カバー、上カバーを閉じてください。
				イメージングカートリッジがセットされていません。	イメージングカートリッジを取り付けてください。
オフ	すばやく点滅	*	搬送ローラジャム、ヒータ部ジャム、排紙部ジャム / トップカバーを開けてください。	紙づまりが発生しています。	つまった用紙を取り除き、すべてのカバーを閉じてから、プリントジョブを続行してください。

[印刷可]ランプ(緑)	[エラー]ランプ(オレンジ)	[トナー]ランプ(オレンジ)	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
オフ	すばやく点滅	*	プロセスエラー（ベルト)、プロセスエラー（IDC）	処理中にエラーが発生しました。	プリンタの上カバーと前カバーを一度開けて閉じてください。問題が解決しない場合は、プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。
オフ	点灯	すべてのランプが点滅	I/C が寿命です。	イメージングカートリッジが寿命です。	イメージングカートリッジを交換してください。

* トナーの状態によって異なる

サービスメッセージ

このメッセージは、カスタマーサービスによる修復が必要な故障を示すメッセージです。

[印刷可]ランプ(緑)	[エラー]ランプ(オレンジ)	[トナー]ランプ(オレンジ)	リモートパネルの表示	状況	処置のしかた
すばやく点滅	すばやく点滅	すべてのランプが点滅	サービスコール（XXXX）	サービスコールが必要なエラー	プリンタの電源を切ってから、もう一度電源を入れてください。問題が解決しない場合は、販売店に連絡してください。

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

注意

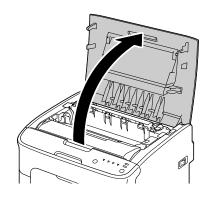
定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

注意

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

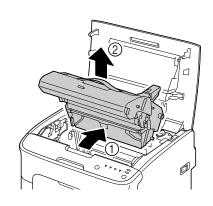
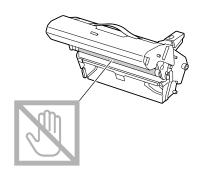
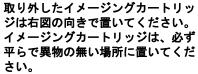
紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのランプで紙づまりのメッセージが表示されている場合は、上カバーの開閉を行ってください。

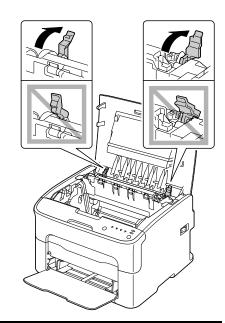
プリンタ内部での紙づまり処理

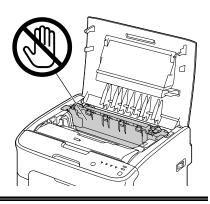
1 上カバーを開けます。

排紙トレイの上に用紙がある場合は、用紙を取り除き、排紙トレイをたたんでから上カバーを開けてください。

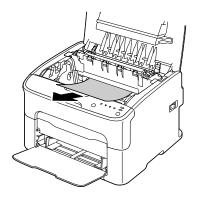
2 取っ手をつかみ、奥の方向に少し引き上げてから、イメージングカートリッジをゆっくりと垂直方向に引き抜きます。

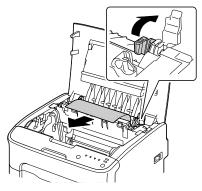
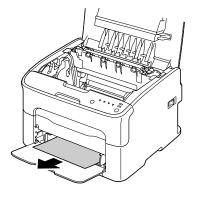
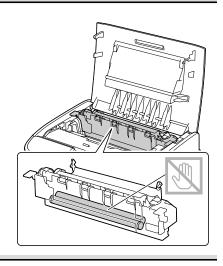
ご注意

イメージングカートリッジの感光体および転写ベルトには触れないように注意してください。

取り外したイメージングカートリッジは右図の向きで置いてください。イメージングカートリッジは、必ず平らで異物の無い場所に置いてください。
取り外したイメージングカートリッジを直射光（太陽光など）のあたる場所に置いたり、15 分以上放置したりしないでください。

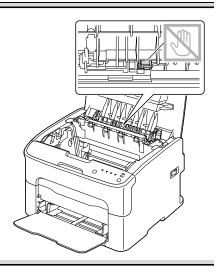
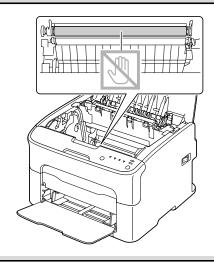
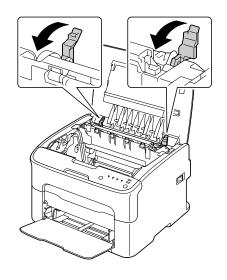
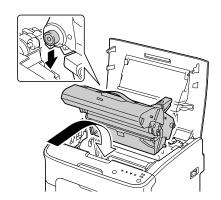
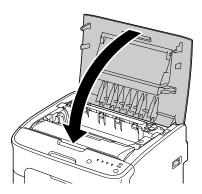
3 左右の定着離間レバーをできるだけ押し上げます。

注意

定着部は非常に高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

4 つまっている用紙を取り除きます。

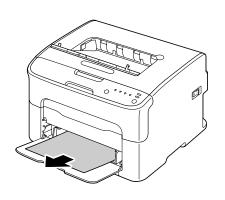
定着ユニット付近で紙づまりが発生している場合、通常は、右のイラストのように定着ユニットの手前方向から用紙を抜き取ってください。

定着ユニットの手前方向から用紙をうまく抜き取れない場合は、定着レバーを持って定着ユニットのカバーを上げ、定着ユニットの奥方向から用紙を抜き取ってください。

ご注意

定着ユニットの定着ローラーの表面には触れないように注意してください。

ご注意

定着ユニットの排紙センサーには触れないように注意してください。

ご注意

転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。
転写ローラーの表面に触れないように注意してください。

5 左右の定着離間レバーを元の位置に戻します。

6 イメージングカートリッジを垂直にゆっくり差し込み、最後に手前下方向に少し押し込んで、イメージングカートリッジを取り付けます。

7 上カバーを静かに閉じます。

トレイ 1 での紙づまり処理

1 つまった用紙をゆっくりと引出します。

用紙が抜き取れない場合は、無理に引き抜かず、「プリンタ内部での紙づまり処理」（p.113）の手順に従って、用紙を取り除いてください。

2 ［クリア］キーを押します。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	給紙トレイ内で用紙がくっついている。	用紙をよくさばいてからセットしなおしてください。
	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
紙づまりのランプが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	上カバーを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大セット枚数を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	ラベル用紙が逆向きにセットされている。	ラベルの向きを正しい向きにセットしてください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	封筒が正しくない向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタをプリンタ側にしてセットしてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙」（p.54）をごらんください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「プリンタ内部の清掃」（p.91）をごらんください。

その他の問題

症状	原因	処置のしかた
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	電源ケーブルが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「技術仕様」（p.136）に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙など）に設定されている。	厚紙などの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されているか確認してください。
	プリンタがスリープ（節電）モードになっている。	プリンタがスリープ（節電）モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	純正ではないトナーカートリッジがセットされている。	コニカミノルタ純正のトナーカートリッジを取り付けてください。

症状	原因	処置のしかた
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	トナーカートリッジを確認してください。トナーが無いと画像が印刷されません。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで「用紙の種類」が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。
印刷されないページがある	［クリア］キーが押された。	ジョブの印刷中に、［クリア］キーを押さないでください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	フォームを設定して印刷しようとしたときに、不適切なプリンタドライバで作成されたフォームファイルが選択されている。	フォームを設定する場合は、適切なプリンタドライバで書き出したフォームファイルを使用してください。
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されていない。	電源スイッチをオフ（〇の位置）にし、電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してから電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「ソート」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「ソート」の設定は必ずプリンタドライバの「基本設定」タブで行ってください。アプリケーション側では設定をしないでください。

症状	原因	処置のしかた
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
用紙にしわができる	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーおよび定着ユニットに損傷がないか確認してください。必要であれば販売店または弊社に連絡してください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については「使用できる用紙」（p.54）をごらんください。
リモートパネルで「パネル」タブの設定値を初期値に戻す方法が分からない。	−	タスクバーからリモートパネルアイコンを終了させ、再度リモートパネルを開いてください。再表示時に画面設定は初期値を表示しますので［適用］をクリックしてください。リモートパネルの終了方法について詳しくは、「リモートパネルを閉じる」（p.51）をごらんください。
リモートパネルで「調整」タブの設定値を初期値に戻す方法が分からない。	−	タスクバーからリモートパネルアイコンを終了させ、再度リモートパネルを開いてください。再表示時に画面設定は初期値を表示しますので［アップロード］をクリックしてください。リモートパネルの終了方法について詳しくは、「リモートパネルを閉じる」（p.51）をごらんください。
印刷時に天地が逆で印刷されてしまう	縦書き封筒を使う場合、天地が逆になることがある。	プリンタドライバの［レイアウト］タブより「180 度回転」をチェックし、印刷してください。

印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	プリンタドライバが正しく設定されていない。	普通紙に印刷する場合、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙以外に設定されていないか確認し、「普通紙」の設定に変更してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
印刷が薄い	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル用紙などに印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙の種類」を指定してください。
印刷が濃い	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある Printer Printer Printer Printer	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
濃度が均一でない Printer Printer Printer Printer	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている。	トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。

症状	原因	処置のしかた
画像にムラがある、または一部分が欠ける	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙」（p.54）をごらんください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	コニカミノルタ推奨の用紙を使用してください。対応用紙については、「使用できる用紙」（p.54）をごらんください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル用紙などに印刷する場合は、プリンタドライバで「用紙の種類」を指定してください。
しみやカスの汚れがある	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
用紙の裏面にしみ汚れがある	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。
		給紙ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける	プリントヘッドが汚れている。	プリントヘッドを清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
横方向に線や帯が現れる	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。
横方向に等間隔で白薄い横線が現れる	トナーの付着が不均一である。	リモートパネルの「調整」タブにある「画像リフレッシュ」（p.50）を実行してください。 症状が改善されない場合は、販売店もしくは弊社に連絡してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	イメージングカートリッジが正しく装着されていない。	イメージングカートリッジを取り出し、再度装着してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い Printer Printer Printer Printer	イメージングカートリッジが壊れている。	イメージングカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、イメージングカートリッジを交換してください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

お問い合わせ先については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

オプションの取り付け

ダストカバー

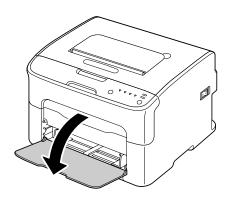
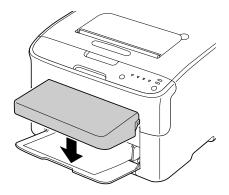
トレイ 1 にダストカバーを装着すると、用紙の防塵、印刷時の運転音の低減に効果があります。

オプションの購入については、「製品サポートとサービスのご案内」をごらんください。

ダストカバーの取り付け

1 トレイ 1 を開きます。

2 ダストカバーを取り付けます。

付録

技術仕様

プリンタ本体

形式	デスクトップ型フルカラーレーザービームプリンタ
印刷方式	半導体レーザー＋回転ミラー
現像方式	電子写真方式
定着方式	熱ローラー方式
解像度	1200 dpi × 600 dpi 600 dpi × 600 dpi
ファーストプリント時間（普通紙）	モノクロ：13 秒（A4、レターの場合） フルカラー：22 秒（A4、レターの場合）
プリント速度（普通紙）	モノクロ：19 枚／分（A4、レターの場合） フルカラー：5 枚／分（A4、レターの場合）
ウォームアップ時間	平均 35 秒（室温 23 ℃で電源オンから印刷可になるまでに要する時間）
用紙サイズ	幅：92 ～ 216 mm 長さ： 普通紙：195 ～ 356 mm 厚紙 1/2：184 ～ 297 mm
用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/ ㎡） レターヘッド 封筒 ラベル用紙 厚紙 1（91 ～ 163 g/ ㎡） 厚紙 2（164 ～ 209 g/ ㎡） はがき
給紙容量	普通紙：200 枚 封筒：10 枚 レターヘッド、ラベル用紙、はがき、厚紙 1/2：50 枚
排紙容量	排紙トレイ：100 枚（A4、レターの場合）
動作時の温度	10 ～ 35°C

動作時の湿度	15 ～ 85%
電源	100 V、50 ～ 60 Hz
消費電力	最大消費電力：970 W 以下 モノクロ印刷時：440 W 以下 フルカラー印刷時：400 W 以下 待機時：140 W 以下 スリープ（節電）モード時：14 W 以下 電源オフ時：0 W
消費電流	9.7 A 以下
ノイズレベル	印刷時：51 dB 以下（モノクロモード）、49 dB 以下（カラーモード） 待機時：29 dB 以下
外形寸法	高さ：275 mm 幅：396 mm 奥行：380 mm
質量	11.2 kg（消耗品：非装着時） 14.4 kg（消耗品：装着時）
インターフェース	USB 2.0 (High Speed) 準拠
標準メモリ	16 MB
機械寿命	50,000 ページまたは 5 年のいずれか早い方

消耗品の寿命の目安

消耗品	平均の寿命の目安
トナーカートリッジ	製品に付属のトナーカートリッジ： 約 1000 ページ（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ： 約 1,500 ページ（Y、M、C）（連続印刷） 交換用トナーカートリッジ（大容量）： 約 2,500 ページ（Y、M、C、K）（連続印刷）
イメージングカートリッジ	約 42,500 ページ（モノクロ連続印刷） 約 10,000 ページ（モノクロ間欠印刷） 約 11,250 ページ（カラー連続印刷） 約 7,500 ページ（カラー間欠印刷）

上記の数値は印字率が 5% で、A4 ／レターサイズの普通紙を使用した片面印刷時の数値です。
実際の寿命は、印刷条件（印字率、用紙サイズ等）や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）かなどの印刷方法の違い、厚紙印刷など使用する用紙種類によって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

カラープリンタでは、モノクロ印刷・カラー印刷に関わらず、本体の電源のオン／オフに伴う初期化動作やプリント品質保持のための自動調整動作時に、すべてのトナーが微量に消費されます。
モノクロ印刷でご使用になられた場合でも、カラートナーは消耗し交換が必要になります。

定期交換部品の寿命の目安

本製品には定期交換部品の設定はございません。従いまして該当いたしません。

本プリンタのご使用にあたって万が一画像不良などが発生した場合は、下記にお問い合わせください。
コニカミノルタプリンタサポートセンター：TEL 0570-003-111
（土日・祝日・年始年末・弊社休業日を除く午前 9:00 〜 12:00、午後 1:00 〜 5:00）
上記ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、TEL 046-220-6565 をご利用ください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号　第 07 122 019 号

magicolor 1600W は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

索引

ふ

め

よ

ら

り

れ